

EC物流のこれから

- ロボット倉庫を検討する上で大切なこと -

2019年4月24日
株式会社ロジレス



ロジレスとは

OMSとWMSを一体型にした物流代行システムです



☑特徴

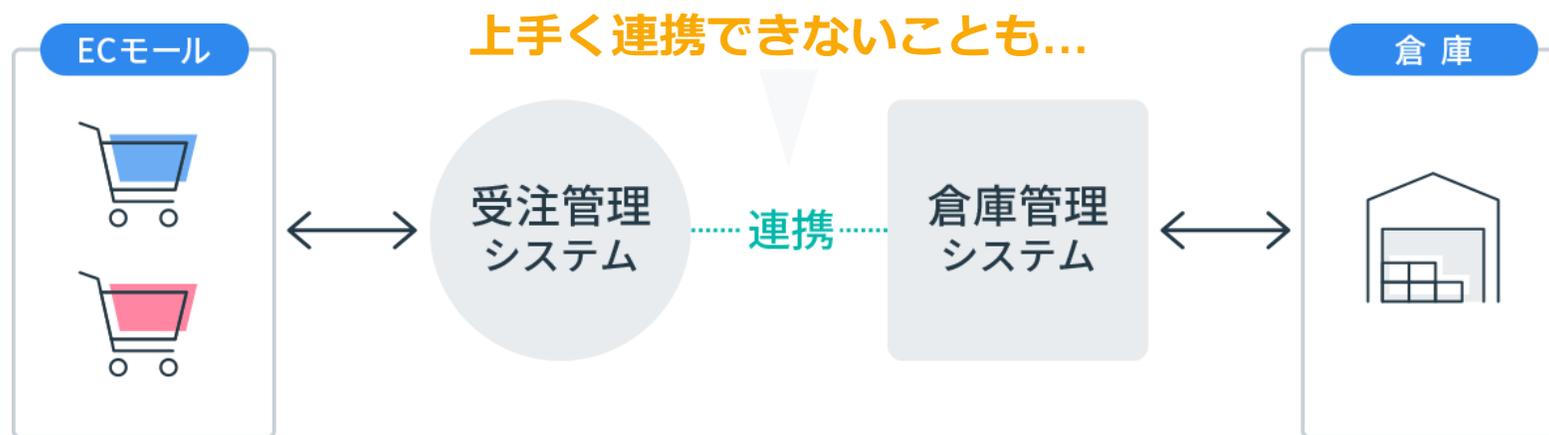
OMSとWMSが一体型になっている

☑ターゲット

物流をアウトソースしている事業者

受注から出荷まで1つのシステムで完結

他社サービス



様々なツールを、自分で組み合わせて運用する必要があります。

ロジレス



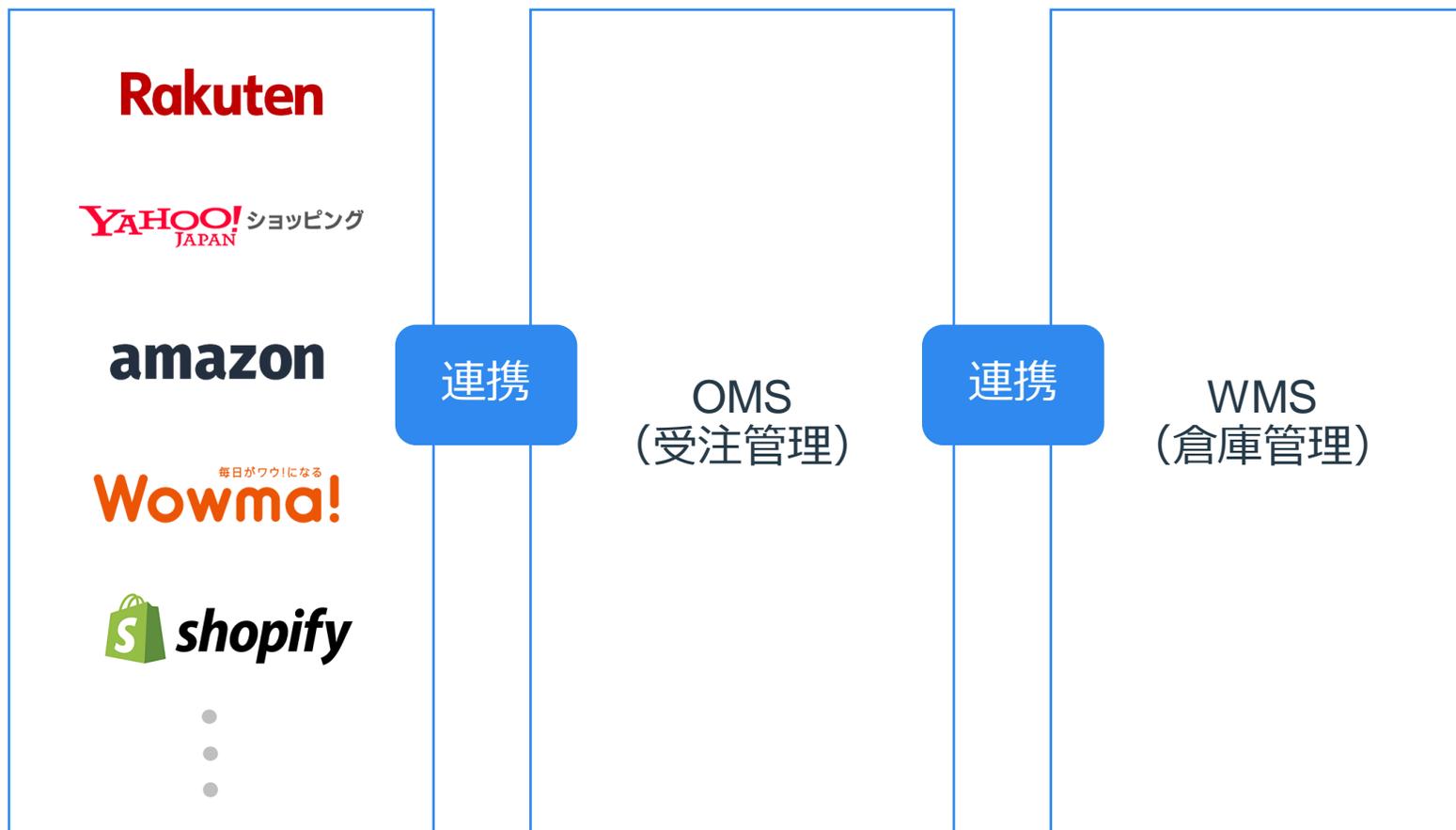
ロジレスなら一つのシステムで完結！

一般的な物流代行のスキーム

ショップ

受注業務

出荷業務



ロジレスを使った物流代行のスキーム

ショップ

受注業務

出荷業務

Rakuten

YAHOO! ショッピング
JAPAN

amazon

毎日がワウ!になる
Wowma!

shopify



連携



LOGILESS

OMS + WMS
(一体型システム)

複数拠点を分割した出荷作業に対応



デモ画面のご案内

実際の画面でご案内します

代表的な導入事例

1

自動処理機能で出荷自動化率を87%に

複雑な処理が多く、1日1,000件以上の注文のすべてを目視でチェックしていたが、ロジレスの導入により自動出荷率87%を実現。
出荷指示を自動で倉庫に連携できるので、受注処理担当がいらない日祝の出荷も可能に。

2

複数拠点出荷で配送費用の大幅カット

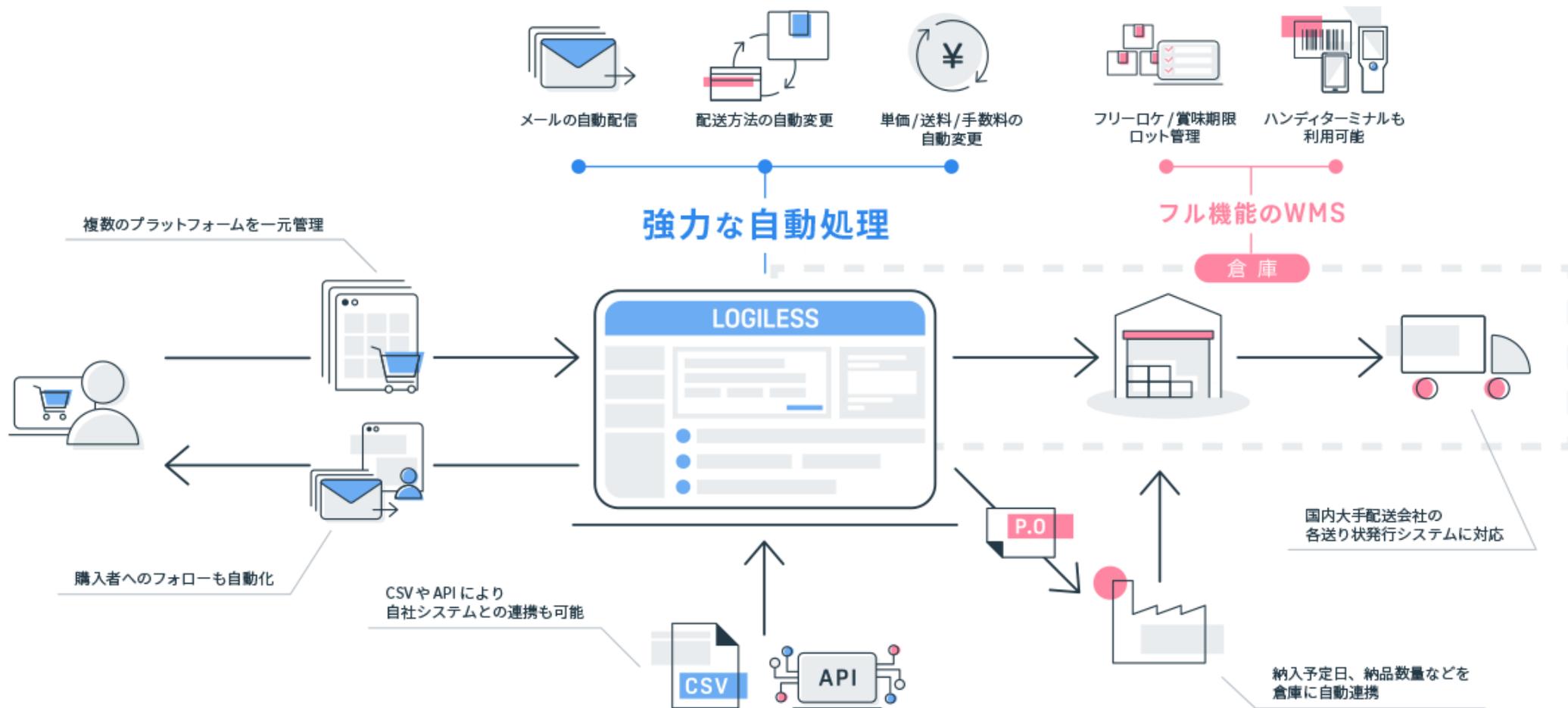
ロジレスの導入により東日本と西日本の2拠点出荷をスタート。
全国への最適な配送が実現したため、一律関東から出荷していた際と比較して、
配送費のコストカットと配送リードタイムの短縮を実現。

3

QR読み取り機能を活用して業務効率化

QRコード読み取り機能を使い、入庫や検品時に商品コードだけではなく、
ロット番号や利用期限の同時登録が可能。
これにより手動で処理していた検品作業の大幅時間短縮を実現。

ロジレスで出来ること



これからのEC物流が立ち向かう課題

人出不足

これからのEC物流のトレンド

自動化

省力化

分散化

これからのEC物流のトレンド

自動化



動く棚



自動梱包機

省力化



RFID

分散化



複数拠点



人と機械

ショップ

連携

出荷拠点

出荷業務

Rakuten

YAHOO! ショッピング
JAPAN

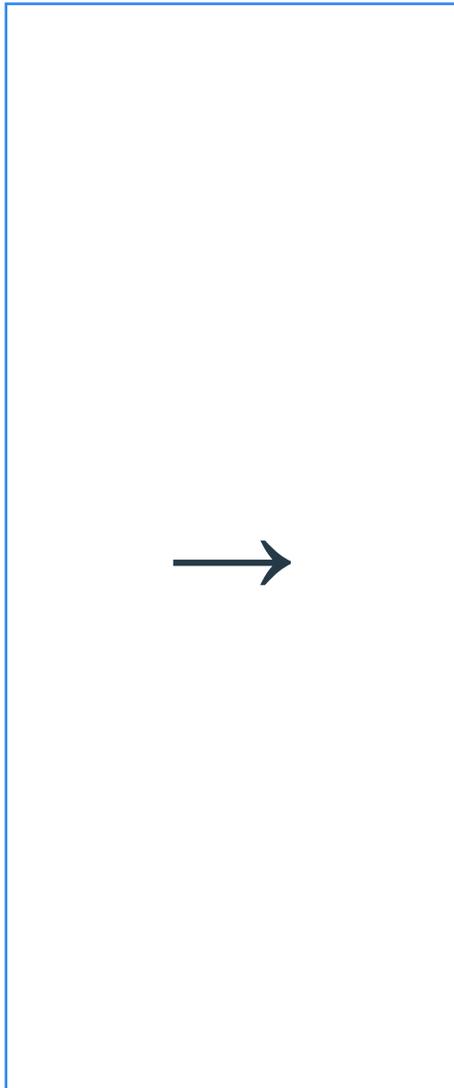
amazon

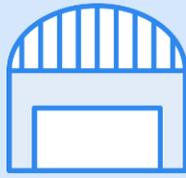
毎日がワクワクになる
Wowma!

ebisumart

shopify

⋮



	 動く棚
	 自動梱包機
	 RFID
	 目視
	 バーコード

ショップ

連携

出荷拠点

出荷業務

Rakuten

YAHOO! ショッピング
JAPAN

amazon

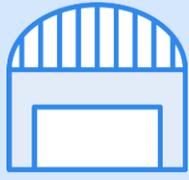
毎日がワクワクになる
Wowma!

ebisumart

shopify

⋮

LOGILESS

	 動く棚
	 自動梱包機
	 RFID
	 目視
	 バーコード

ショップ

連携

出荷拠点

出荷業務

配送

Rakuten

YAHOO! ショッピング
JAPAN

amazon

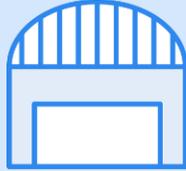
毎日がワクワクになる
Wowma!

ebisumart

shopify

⋮

LOGILESS

	 動く棚
	 自動梱包機
	 RFID
	 目視
	 バーコード

	ヤマト運輸
	佐川急便
	日本郵便
	自動運転
	日本郵便
	地域限定配送便
	ドローン

まとめ

- ・ EC物流は人出不足で大きく変化する
- ・ 自動化 / 省力化 / 分散化の流れがくる
- ・ 次の物流に対応できるオペレーションにするかが大切
- ・ 受注から出荷まで一本の流れにする必要がある
- ・ 商品設計から考えないといけない
- ・ ロジレス使ってもらえるとめっちゃうれしい